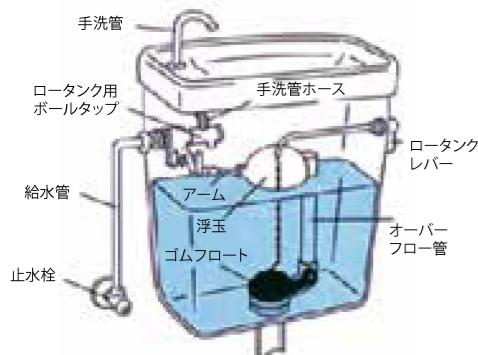


3. トイレロータンクの不具合

トイレの水がとまらない!!
水が流れない!! そんな時のために
ちょっと知っておいてほしいこと。



ロータンクの構造としくみ



①使っていない状態です。水面はオーバーフロー管の先より2～3cm低くなっています。

④一定の水量まで水がたまると、浮玉も上がり、ボールタップの弁が閉じて給水も止まります。

●ロータンクのないフラッシュバルブ方式(ダイレクトバルブ方式)の修理は、製造メーカー又は指定給水装置工事業者へお問い合わせください。



②レバーを回すとゴムフロートが開き、水が流れ出します。水面が下がると浮玉も下がり、ボールタップの弁が開いて給水がはじまります。



③レバーがもどるとゴムフロートは閉まります。そして、だんだん水がたまっていきます。



止水栓の調節

修理のため止水栓を閉じたら、修理後は忘れずに止水栓を調節して開いてください。調節は、浮玉をいっぱい下げたまま、止水栓を徐々に開けていきます。その状態で水位がオーバーフロー管よりも1cm以上上昇しない程度まで止水栓を開ければ完了です。

水がとまらない

タンクのフタをはずして中を見てください。手洗管つきのものはフタを持ち上げてからボールタップと接触しているホースを抜いてフタをはずします。前ページのロータンク構造図を見ながら、次のように原因を探してください。原因を見つけたら、修理前に止水栓を閉じて、タンク内の鎖を上引き、タンクの水を抜いておくと作業が楽です。修理後は、前ページ「止水栓の調節」を見ながら、止水栓を開いてください。

①水がオーバーフロー管の上までである

ボールタップ弁が閉じないため給水がストップせず、余った水がオーバーフロー管から便器へと流れている状態です。

※浮玉の動きにより、ボールタップで止水や給水がされます。



浮玉の点検

- 浮玉がはずれている。
- 引っかかって上がってこない。
→正しい位置に取り付け、上下にスムーズに動くようにする。

ボールタップの点検

- ボールタップ弁に水アカやゴミがたまっている。
→ボールタップ弁を取出して汚れを落とす。
- ボールタップ内パッキンの老化。
→ボールタップ内パッキンを取り替える。
- 上記のどちらを直しても水がとまらない。
→ボールタップを交換する。

②水がオーバーフロー管の上まででない

ゴムフロートのところから水がもれている状態です。

※ゴムフロートはタンクにためた水が流れ出る排水口のフタです。鎖によってレバーにつながり、開いたり閉じたりします。



ゴムフロートの点検

- ゴミや水アカが、排水口とゴムフロートの間につまっている。
- 取り付け部分がはずれている。
- 鎖が引っかかり、ゴムフロートが上がったままである。
→引っかかりや異物をきれいになくし、正しい位置に取り付ける。
- ゴムフロートの老化。
→さわってみて手が黒くなるようならゴムフロートの老化。新しいものに取り替える。